

# 広報オススメ本 5月



「花屋さんが言うことには」

山本 幸久／著 ポプラ社

定時に帰れず残業手当もなく、社内でトイレに行く時には上司の許可が必要なブラック企業で働く紀久子。疲れ果てた紀久子がファミレスで退職の相談を上司にしていた時、駅前で花屋を営む外島が話しかけてきて…。



「家族ずっと」

森 浩美／著 双葉社

由貴は小学二年生の夫の連れ子、早紀と良好な関係が築けず悩んでいた。由貴が選ぶ服、作るご飯や洗濯物の畳み方等の全てを早紀の亡き母と比べられていると感じ悩む由貴はある日、ママ友との会話で授業参観があることを知り…。



「366日の花切り絵」

大橋 忍／著 日本ヴォーグ社

本書は、366日の誕生花の切り絵作品と図案、切り絵のコツや活用法が紹介されており、1年を通じて切り絵を楽しむことができます。また、作品がオールカラーで掲載されているので、見るだけでも楽しめる一冊です。